

登録団体活動紹介

特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ



環境省は、東日本大震災からの復興の後押しをする「グリーン復興プロジェクト」の一環として、「みちのく潮風トレイル」の設定を進めてきました。全長 1,024km を統括する拠点「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター」を名取市閑上に今年 4 月に開所し、環境省、名取市及び特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブの3者が共同で運営しています。

歩く旅

トレイルとは「歩くための道」という意味です。長く歩いていると、頭の中が整理され、視野が広がり、自分たちは自然の中に生かされているという実感を得られ、また、その土地とそこに住む人々とのつながりから育まれてきた文化をよりよく体感できるといわれています。自然の恵みと脅威を肌で感じる機会としても多くの皆さんに歩いて欲しい道です。

被災地沿岸を歩き、移りゆく景色を見ていると、地球という自然に思いを馳せ、時には何故ここに生きているのか…と自分を振り返る哲学的な心境にもさせるという「歩く旅」。

1,000km を歩いたら自分はどんな風になっているのだろうと、まだ見ぬ自分に出会う事が出来る旅でもあります。

最低限必要な装備をバックパックに詰めて、テント泊をし、街で必要なモノを調達しながら歩くハイカー(歩く人)もいますが、宿に泊まりながら週末2泊3日、日帰りなど、手軽に始められるところも魅力的です。



みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター

安心して歩けるサポート

名取トレイルセンターでは、他5カ所のサテライト施設から全線の各種情報を集約管理しSNSなどで発信しています。

さらに、センターにはハイカーの強い味方がいます。事務局長の関博充さんは海外のロングトレイルを歩いた経験者。ロングトレイルの貴重な体験談を聞けるかもしれません。

もちろん、スタッフ全員が歩く旅の相談に乗ってくれます。名取トレイルセンター主催のイベントも開催されているので、是非、足を運んでみてください。

愛される「道」を育てる

「民間団体だからこそ出来る途切れない道を、ハイカーと共に100年、200年、永らえる道に育てたい。地域の皆様にも温かく受け入れて頂き、いつまでも愛してもらえる道を育てられるように、という願いをもって取り組んでいます。」と関さんは語ってくれました。



みちのく潮風トレイル全線踏破証

特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブでは、1,000km を超える全線を踏破されたハイカーに全線踏破登録証を発行しています。多くの皆さまの挑戦をお待ちしております。

問合先 名取トレイルセンター

名取市閑上 5 丁目 300 番地 31 街区 1 画地

☎ 022-398-6181

✉ info@m-tc.org

<https://www.mct-natori-tc.jp>